

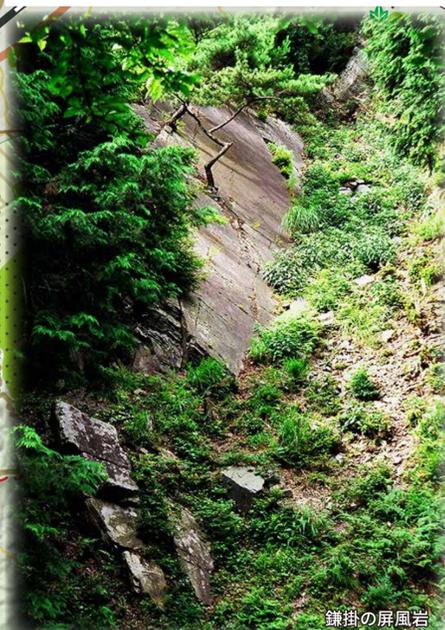
12 鈴鹿山脈

鈴鹿山脈の北部には石灰岩地が広がり、洞窟や湧水が多く見られ、多雪地で、石灰岩地には特有のコウモリ類、昆虫類、貝類などやカモシカなど中大型獣、溪流性のアジメドジョウなどが生息しています。また、湧水地にはハリヨなどが生息しています。登山などのレクリエーションに利用される他、木地師の里としても知られ木工文化が育まれてきました。



景観・文化・一次産業の特徴

- 木地師の里(木材資源の活用)
- 霊峰として信仰の対象(霊仙山)



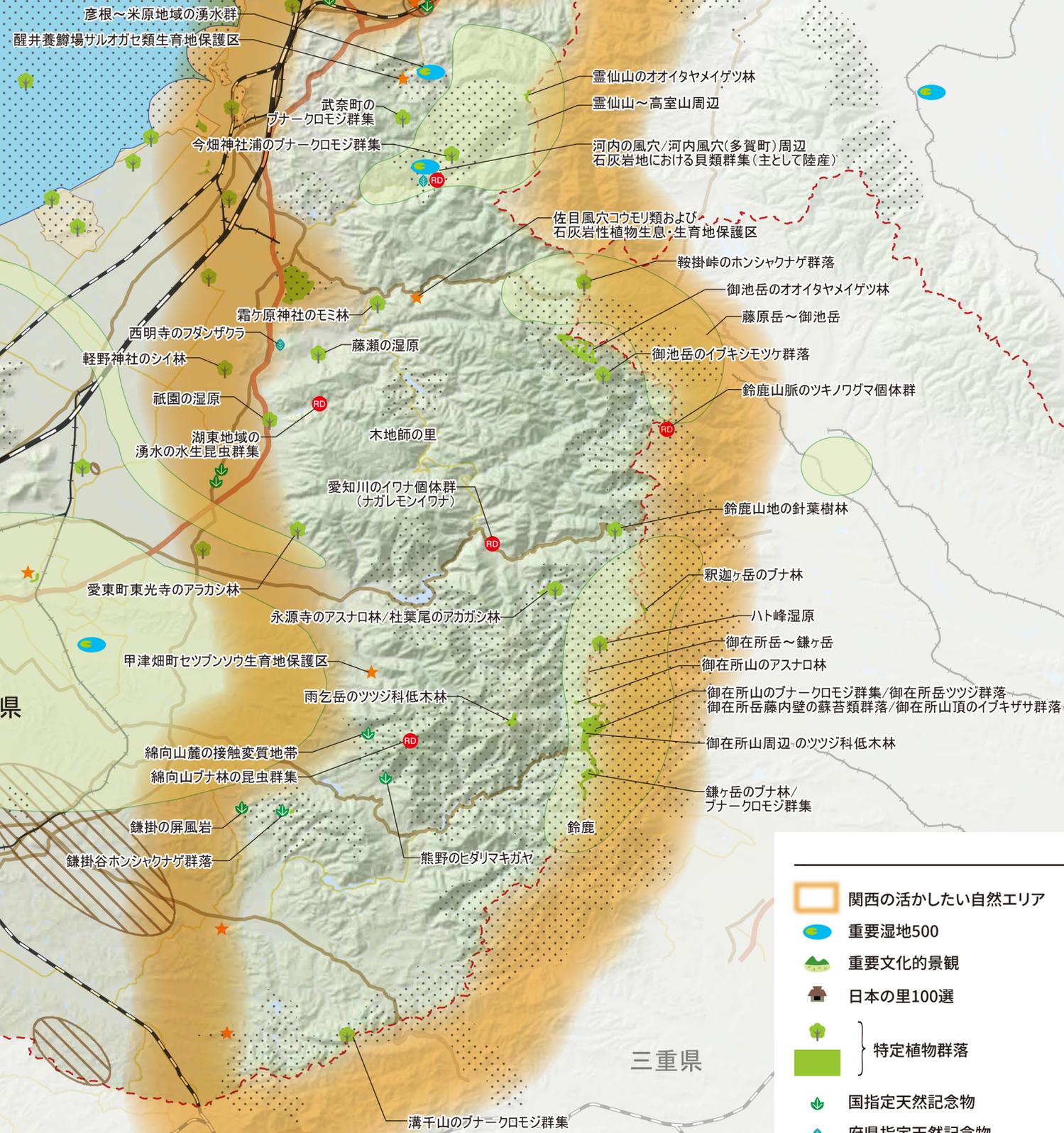
鎌掛の屏風岩

自然環境・生物多様性の特徴

- 東海地方と近畿地方の生物相の分布境界
- 風穴性の昆虫類(メクラチビゴミムシ、サメメクラチビゴミムシ)
- 中大型獣の生息地(カモシカ)
- 溪流性のアジメドジョウ



鎌掛谷のホンシャクナゲ



凡例

- 関西の活かしたい自然エリア
- 重要湿地500
- 重要文化的景観
- 日本の里100選
- 特定植物群落
- 国指定天然記念物
- 府県指定天然記念物
- 自然公園(国立、国定、府県立)
- ふるさと滋賀の野生動植物との共生に関する条例(生息・生育地保護区)
- 滋賀県版レッドデータブック2005: 保全すべき群集群落个体群
- ラムサール条約湿地(琵琶湖)
- レッドデータブック近畿: 保護上重要な植物
- Key Biodiversity Area
- 生物多様性保全上重要な里地里山

